

カーリングのまち北見市で 沖縄県民が普及活動中!



上地 雄大 (うえち ゆうだい)

沖縄県那覇市出身。2021年8月、北見市に地域おこし協力隊のカーリングサポート隊としてカーリングの普及活動を開始。北見市民の方々に、カーリングを身近なスポーツと感じてもらうことを目指している。

【北見市に来たきっかけとカーリングサポート隊に応募した動機】

私が初めて北見市に住んだのは、大学卒業してすぐの社会人一年目です。生まれてから高校まで沖縄で育ち、大学は千葉県に行き、卒業後は関東に残るか地元沖縄に戻るかの二択で考えていたあるとき、北海道に憧れを持っていた私は、北見市の求人が目に入りました。その理由は、プロ野球チーム「北海道日本ハムファイターズ」があるからです。私は新庄監督の現役時代のプレーを見たのがきっかけで、小学4年生から高校3年生まで野球をやっていました。求人を見たときは北見市の企業に就職すれば、日本ハムファイターズの試合がたくさん見れる！と思い、北見市に住み始めました。実際、札幌市と北見市は、車で5時間程度かかるため、あまり札幌ドームで観戦できていません…。

北見市に来たときは、大学で取得した医療国家資格とトレーナーの資格を活かして働いていました。そのときのお客さんにカーリングをしている方がいて、その方の指導のためにカーリングを始めました。カーリングは老若男女関係なく楽しめるスポーツで、すぐにのめりこみました。しかし、カーリングを始めて驚い

たことがありました。それは北見市民のほとんどの人がカーリングを経験したことが無いということでした。北見市は「カーリングのまち」と言われているので、ほとんどの人が経験したことがあると思っていたので残念に思いました。そこで私は一人でも多くの人にカーリングの良さを広めたいと思い、カーリングのサークルを作り週末に活動するようになりました。仕事の都合上、一度、北見市を離れてしまいましたが、カーリングへの熱は高まるばかりで過ごしていたところ、北見市で地域おこし協力隊（カーリングサポート隊）の募集を行っているを知り、今までやってきたことが自治体単位でできるチャンスだと思い、迷わず応募しました。

【これまでの活動】

私は現在、就任して2年目（2023年1月時点）ですが、1年目はカーリングというスポーツを北見市民に触れてもらうということをテーマにいろいろな活動をしてきました。

カーリングを実際にプレーしてもらうきっかけ作りのため、教室や体験会の企画・運営、小中学生のカーリング授業の指導補助をしてきました。北見市にカーリングホールは2つありますが、北見市民のほとんどの人がプレーしたことがない理由の一つとして、「どのようにカーリングを始めていいかわからない」ことが挙げられます。その問題を解決するために、教室や体験会を開催することによって、敷居が下がり、カーリングが始めやすくなると思い教室や体験会の企画・運営を積極的に行いました。

また、北見市民の方々に少しでもカーリングという言葉が目に入るように、新聞やテレビ、ラジオなどメディアへの出演、SNSやwebサイト「北見市カーリングナビ」での、北見市のカーリング情報の発信を積極的に行いました。SNSやwebサイトを見る機会がない方もいると思い、北見市のカーリング情報を載せているフリーペーパー「めんそ〜れ〜」を作成し、北見市



フリーペーパー「めんそ〜れ〜」

内のスーパーや公共施設などに置かせていただいています。2022年は北京オリンピックで北見のチームである、ロコ・ソラーレが日本代表で出場していたので、北見市民の応援メッセージを集めて編集し、YouTubeに投稿して北見市全体で応援ムードを作りました。

2年目は、継続的にカーリングをしたいと思う子どもたちを増やすため、小学4年生から6年生を対象に9月から12月までの3ヵ月間「ちむどんどん！カーリング教室」を開催しました。小学4年生から6年生を対象にした理由としては、カーリングをする一般の人は増えてきたのですが、子どもたちが増えていかなかったからです。カーリングはチームで活動するのが基本ですが、現在の北見市にはカーリングの少年団やクラブチームがありません。北見市では、授業でカーリングをする学校が増えているにも関わらず、カーリングを継続的にする子どもたちは増えていませんでした。その現状に待ったをかけるために対象を子どもたちにしました。実際、この教室に参加した子どもたちの中で公式戦に出場するチームや今後もカーリングをするためにグループを作ったりなど、10名以上の子どもたちが今後もカーリングを続けたいと言ってくれました。

また、その他の活動としては、北見市とイオン北海道は包括連携協定を締結しており、その一環で本州にあるイオンの北海道フェアにて、北見市としてのブースを出展した際に、フロアカーリング体験会とVRカーリングを行い、本州の方に北見市は「カーリングのまち」だということをPRしたり、大学時代に勉強したことを活かして、カーリングの競技力向上を目指した高校生チームにトレーニングやストレッチ指導もさせていただきました。



3ヵ月間の「ちむどんどん！カーリング教室」

カーリングサポート隊の活動とは別に、カーリング愛好家を集めてカーリングのサークルを作り活動をしているのですが、カーリングの楽しさにハマってきた人が増えてきて、今では地元のカーリング協会が主催しているリーグ戦に、4チームが参加するほどになりました。

【これからやっていきたいこと】

現在、北見市ではカーリングホールが2つあり、カーリングをするにはとてもいい環境になってきていますが、カーリングの始め方がわからない方がいたり、少年団やクラブチームのような子どもたちが継続



幅広い年代で教室を開催しカーリングの楽しさを伝えている

的に続けられるような環境がありません。カーリングサポート隊の活動最終年度となる3年目は、これまで開催してきた教室や体験会を継続して開催し、今までカーリングをしたことがない人たちにも気軽に参加してもらえるようにしていきます。また、地元のカーリング協会やカーリングを普及させたいと思っている方たちと協力して、子どもたちが継続してカーリングを続けられるような環境づくりをしたいです。北見市民一人一人がカーリングを身近に感じ、「カーリングのまち北見」に住んでいることを誇りに思えるよう普及活動をしていきたいです。

【将来の展望】

現在、カーリングホールは北海道・青森県・長野県・山梨県にしかありませんが、新潟県・岡山県・熊本県などではアイススケートリンクでカーリングをしています。私の地元である沖縄県にもアイススケートリンクがあるので、将来、沖縄県でもカーリングができるような環境にしたいと思っています。そのためには克服しなければならない課題がいくつかありますが、いくつか実現するために頑張ります！